明治二十五年三月三十一日第三種郵便物認可

官報

號外　昭和十三年二月六日

○第七十三回帝國議會衆議院議事速記錄第十號

昭和十三年二月五日(土曜日)

午後三時十二分開議

議事日程　第九號

昭和十三年二月五日

午後三時開議

第一　特許法中改正法律案(政府提出、貴族院送付)　第一讀會

第二　商標法中改正法律案(政府提出、貴族院送付)　第一讀會

第三　不正競爭防止法中改正法律案(政府提出、貴族院送付)　第一讀會

第四　辨理士法中改正法律案(政府提出、貴族院送付)　第一讀會

第五　支那事變ノ爲召集セラレタル地方議會ノ議員又ハ其ノ選擧ノ當選者ノ資格ニ關スル法律案(淸瀨一郎君外一名提出)　第一讀會

第六　六大都市ニ特別市制實施ニ關スル法律案(松永東君外二十名提出)　第一讀會

第七　民族優生保護法案(八木逸郎君提出)　第一讀會

(左ノ報告ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノ爲茲ニ掲載ス)

一議員ノ異動左ノ如シ

愛知縣第二區選出議員丹下茂十郎君死去セラレタリ

一議員ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ

青年禁酒法案

提出者

坂東幸太郎君　村松　久義君
林　平馬君　喜多壯一郎君
仲西　三良君　川合　直次君
八木　逸郎君　森田重次郎君
星島　二郎君　出井　兵吉君
依光　好秋君　杉山元治郎君
河合　義一君　杉浦　武雄君
田中　養達君　江藤源九郎君
赤松　克麿君　小山　亮君
椎尾　辨匡君

三戸驛ヨリ三本木ヲ經テ千曳驛ニ至ル鐵道速成ニ關スル建議案

提出者

小笠原八十美君　森田重次郎君

三戸驛ヨリ毛馬内驛ニ至ル鐵道速成ニ關スル建議案

提出者

小笠原八十美君　森田重次郎君

鐵道三等公務乘車證制度復活ニ關スル建議案

提出者

松尾　三藏君

帝國造林會社設立ニ關スル建議案

提出者

松浦周太郎君　伊藤　五郎君
森田重次郎君　手代木隆吉君

日本武道院設置ニ關スル建議案

提出者

江藤源九郎君

(以上二月一日提出)

交通機關調整法案

提出者

田中　好君　綾部健太郎君

計理士法中改正法律案

提出者

中野　治介君　田中　好君

戰公病死者遺族竝傷痍軍人優遇ニ關スル建議案

提出者

江藤源九郎君

戰役殊勳者優遇ニ關スル建議案

提出者

本田　義成君　田中　亮一君
川島正次郎君　小高長三郎君

(以上二月二日提出)

辯護士法中改正法律案

提出者

泉　國三郎君　世耕　弘一君

生命保險事業國營ノ是非調査ニ關スル建議案

提出者

林　路一君　小池　四郎君

(以上二月三日提出)

栃木縣那須溫泉場ニ陸軍療養所設置ニ關スル建議案

提出者

坪山　德彌君　小平　重吉君

(以上二月四日提出)

一去一日近衞内閣總理大臣ヨリ左ノ通發令アリタル旨ノ通牒ヲ受領セリ

司法省行刑局長　瀧川　秀雄

第七十三回帝國議會司法省所管事務政府委員被仰付

一去一日常任委員補闕選擧ノ結果左ノ如シ

第五部選出

豫算委員　江藤源九郎君(石坂繁君補闕)

一去一日議長ニ於テ辭任ヲ許可シタル常任委員左ノ如シ

第四部選出豫算委員　堀内　良平君

第二部選出決算委員　横川　重次君

第三部選出請願委員　林　路一君

一去一日特別委員理事補闕選擧ノ結果左ノ如シ

昭和十三年度一般會計歲出ノ財源ニ充ツル爲公債發行ニ關スル法律案(政府提出)外六件委員

理事　藤本捨助君(理事藏原敏捷君一

月三十一日委員辭任ニ付其ノ補闕）

一去一日議長ニ於テ選定シタル委員左ノ如シ

臨時租稅增徵法中改正法律案（政府提出）外七件委員

岡本實太郎君　西村金三郎君
川崎　克君　前田房之助君
中島彌團次君　一柳仲次郎君
勝　正憲君　矢野庄太郎君
川崎末五郎君　小畑虎之助君
宇賀　四郎君　津倉　亀作君
川副　隆君　高橋熊次郎君
東條　貞君　岩瀨　亮君
佐藤洋之助君　小串　淸一君
靑山　憲三君　宮本雄一郎君
服部　岩吉君　木本主一郎君
岡田　忠彦君　山川賴三郎君
森田　福市君　鶴　惣市君
坂田　道男君　野中　徹也君
豐田　收君　曾木　重貴君
飯村　五郎君　片山　哲君
水谷長三郎君　河野　密君
三木　武夫君　馬場　元治君

一去一日ニ於ケル特別委員ノ異動左ノ如シ

農地調整法案（政府提出）委員

辭任小林　三郎君　補闕愛野時一郎君

一去二日ニ於ケル特別委員ノ異動左ノ如シ

農地調整法案（政府提出）委員

辭任曾和　義弌君　補闕南　鼎三君

一去二日常任委員補闕選擧ノ結果左ノ如シ

第二部選出

決算委員　松尾　孝之君（横川重次君補闕）

第三部選出

請願委員　佐藤　啓君（林路一君補闕）

第四部選出

豫算委員　山本　厚三君（堀内良平君補闕）

一去二日委員長及理事互選ノ結果左ノ如シ

臨時租稅增徵法中改正法律案（政府提出）外七件委員

委員長　高橋熊次郎君

理事

岡本實太郎君　西村金三郎君
東條　貞君　岩瀨　亮君
野中　徹也君　片山　哲君

一去三日議長ニ於テ辭任ヲ許可シタル常任委員左ノ如シ

第二部選出豫算委員　坪山　德彌君

第八部選出豫算委員　朴　春琴君

一去三日ニ於ケル特別委員ノ異動左ノ如シ

兵役法中改正法律案（政府提出）委員

辭任眞鍋　儀十君　補闕山田　順策君

一昨四日近衞內閣總理大臣ヨリ左ノ通發令アリタル旨ノ通牒ヲ受領セリ

外務省調査部長　米澤　菊二

第七十三回帝國議會外務省所管事務政府委員被仰付

一昨四日常任委員補闕選擧ノ結果左ノ如シ

第二部選出

豫算委員　板谷　順助君（坪山德彌君補闕）

第八部選出

豫算委員　石坂　繁君（朴春琴君補闕）

一昨四日議長ニ於テ辭任ヲ許可シタル常任委員左ノ如シ

第二部選出豫算委員　田万　淸臣君

第六部選出豫算委員　松村　謙三君

第六部選出豫算委員　小山倉之助君

一昨四日ニ於ケル特別委員ノ異動左ノ如シ

兵役法中改正法律案（政府提出）委員

辭任木村　武雄君　補闕三浦　虎雄君

辭任山崎　釼二君　補闕中村　高一君

電力管理法案（政府提出）外三件委員

辭任麻生　久君　補闕河上丈太郎君

○議長（小山松壽君）　是ヨリ會議ヲ開キマス、諸君、議員丹下茂十郎君ハ昨四日逝去セラレマシタ、洵ニ痛惜哀悼ノ至ニ堪ヘマセヌ、此際岡本實太郎君ヨリ發言ヲ求メラレテ居リマス、之ヲ許シマス――岡本實太郎君

（岡本實太郎君登壇）

○岡本實太郎君　私ハ只今御報告ニ相成リマシタ故丹下茂十郎君ニ對シ、院議ヲ以テ弔詞ヲ贈呈シ、其弔詞ハ之ヲ議長ニ一任スルノ動議ヲ提出致シマス、此際私ハ諸君ノ御許ヲ得マシテ議員一同ヲ代表シ、玆ニ故丹下君ニ對シテ哀悼ノ微意ヲ表シタイト思ヒマス

丹下君ハ明治十三年愛知縣東春日井郡勝川町ニ生レラレ、夙ニ官界ニ志サレ、愛知縣廳及ビ滋賀縣廳等ニ職ヲ奉ゼヲル、コト二十有餘年、斯クシテ大正十三年五月、第十五回衆議院議員總選擧ニ際シ、鄕里ヨリ推サレテ本院議員ニ當選セラレ、爾來引續キ當選サル、コト六回、在職十三年有餘ノ久シキニ亙リマシテ、本院ニ議席ヲ占メラレテ居ッタノデアリマス、其間決算委員長トシテ克ク國政審議ノ重責ニ膺リ、或ハ大藏參與官トシテ財政經濟ノ行政ニ參與シ、或ハ關稅調査委員會ヲ初メ、中央官衙建築委員會、國有財産調査會、政府貸付金處理委員會、金融評議會、臨時地方財政補給金委員會ノ委員ヲ仰付ケラル、等、君ガ鋭意國家憲政ノ爲ニ盡瘁セラレタル功績ハ蓋シ多大ナルモノガアリマス

君ハ資性溫厚ニシテ篤實、事ニ當ッテ熟誠、洵ニ謹直ノ士デアリマシテ、君ノ如キ財政經濟ニ練達堪能ナル政治家ニ俟ツベキモノ多カルベキノ秋ニ、不幸病魔ノ襲フ所トナリ、吾人ハ君ガ御快癒ノ速カナランコトヲ祈念致シテ居ッタノデアリマスルガ、俄

ニ病革リ、忽焉トシテ一朝不歸ノ客トナラレマシテ、再ビ本議場ニ於テ君ノ風貌ニ接スルコトヲ得マセヌコトハ、洵ニ痛惜禁ジ難キモノガアリマス

玆ニ謹ンデ君ノ英靈ニ對シ深甚ナル哀悼ノ意ヲ表スル次第デアリマス（拍手）

○議長（小山松壽君）　岡本君提出ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長（小山松壽君）　御異議ナシト認メマス、仍テ動議ハ可決セラレマシタ、玆ニ議長ノ手許ニ於テ起草シタル弔詞ヲ朗讀致シマス

衆議院ハ議員正五位勳三等丹下茂十郎君ノ長逝ヲ哀悼シ恭シク弔詞ヲ呈ス

〔拍手起ル〕

○議長（小山松壽君）　此弔詞ノ贈呈方ハ議長ニ於テ取計ヒマス――日程第一乃至第四ハ、便宜上一括議題ト爲スニ御異議アリマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長（小山松壽君）　御異議ナシト認メマス、仍テ日程第一、特許法中改正法律案、日程第二、商標法中改正法律案、日程第三、不正競爭防止法中改正法律案、日程第四、辨理士法中改正法律案、右四案ヲ一括シテ第一讀會ヲ開キマス――商工大臣吉野信次君

第一　特許法中改正法律案（政府提出、貴族院送付）　第一讀會

第二　商標法中改正法律案（政府提出、貴族院送付）　第一讀會

第三　不正競爭防止法中改正法律案（政府提出、貴族院送付）　第一讀會

第四　辨理士法中改正法律案（政府提出、貴族院送付）　第一讀會

特許法中改正法律案

特許法中左ノ通改正ス

第四十一條　特許アリタル後ニ於テ引續キ三年以上正當ノ理由ナクシテ其ノ發明カ帝國內ニ適當ニ實施セラレサル場合ニ於テ公益上必要アルトキハ特許局長官ハ利害關係人ノ請求ニ依リ其ノ實施權ヲ許與スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依ル最初ノ實施權ノ許與アリタル後ニ於テ引續キ二年以上正當ノ理由ナクシテ其ノ發明カ帝國內ニ適當ニ實施セラレサル場合ニ於テ公益上必要アルトキハ特許局長官ハ利害關係人ノ請求ニ依リ又ハ職權ヲ以テ其ノ特許ヲ取消スコトヲ得

特許權者又ハ請求人ハ第一項ノ規定ニ依ル實施權許與若ハ前項ノ規定ニ依ル特許取消ノ處分又ハ前二項ノ請求ノ却下ニ對シ不服アルトキハ訴願ヲ提起スルコトヲ得

第一項ノ規定ニ依リ實施權ヲ許與スル場合ニ於テハ特許局長官ハ補償金ニ付テモ亦之カ決定ヲ爲スヘシ

第六十四條第四項中「前三項」ヲ「前二項」ニ改メ同條第三項ヲ削ル

附　則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

商標法中改正法律案

商標法中左ノ通改正ス

第十三條第二項ヲ削ル

第十四條第二項ヲ削ル

附　則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

不正競爭防止法中改正法律案

不正競爭防止法中左ノ通改正ス

第一條第一項第三號中「商品」ヲ「營業上」ニ改メ同號ヲ第四號トシ同項第二號ヲ第三號トシ同項第一號ノ次ニ左ノ一號ヲ加フ

二　本法施行ノ地域內ニ於テ取引上廣ク認識セラルル他人ノ氏名、商號、標章其他他人ノ營業タルコトヲ示ス表示ト同一又ハ類似ノモノヲ使用シテ他人ノ營業上ノ施設又ハ活動ト混同ヲ生ゼシムル行爲

同條第三項中「第三號」ヲ「第四號」ニ、「商品」ヲ「營業上」ニ改ム

第二條中「適用セズ」ノ下ニ「取引上普通ニ同種ノ營業ニ慣用セラルル名稱其ノ他ノ表示ヲ使用スル行爲ニ付亦同ジ」ヲ加フ

第六條中「第一號第二號」ヲ「第一號乃至第三號」ニ改ム

附　則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

辨理士法中改正法律案

辨理士法中左ノ通改正ス

「農商務大臣」ヲ「商工大臣」ニ改ム

第一條　辨理士ハ特許、實用新案、意匠又ハ商標ニ關シ特許局ニ對シ爲スヘキ事項ノ代理及其ノ事項ニ關スル鑑定其ノ他ノ事務ヲ行フコトヲ業トス

第二條第一項第一號中「私法上ノ能力者」ヲ「成年者」ニ改ム

第三條第二號中「若ハ司法科試驗又ハ判事檢事登用試驗」ヲ「又ハ司法科試驗」ニ改ム

第四條　削除

第五條　左ニ掲クル者ハ辨理士タル資格ヲ有セス

一　禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル者

二　前號ニ該當スル者ヲ除クノ外第二十二條若ハ第二十二條ノ四、特許法第百二十九條、第百三十條若ハ第百三十三條、實用新案法第二十七條、第二十八條若ハ第三十一條、意匠法第二十六條、第二十七條若ハ第三十條

又ハ商標法第三十四條若ハ第三十五條ノ罪ヲ犯シ刑ニ處セラレタル者ニシテ刑ノ執行ヲ終リ又ハ其ノ執行ヲ受クルコトナキニ至リタル日ヨリ起算シ三年ヲ經過セサルモノ

三　懲戒ノ處分ニ因リ免官若ハ免職セラレタル者、本法若ハ計理士法ニ依リ業務ヲ禁止セラレタル者又ハ辯護士法ニ依リ除名セラレタル者ニシテ免官、免職、業務禁止又ハ除名ノ日ヨリ起算シ二年ヲ經過セサルモノ

四　本法ニ依ル業務停止ノ期間中業務ヲ廢止シ未タ其ノ期間ノ經過セサル者

五　禁治產者又ハ準禁治產者

六　破產者ニシテ復權ヲ得サルモノ

第九條　辨理士ハ特許、實用新案、意匠又ハ商標ニ關スル事項ニ付裁判所ニ於テ當事者又ハ訴訟代理人ト共ニ出頭シ陳述ヲ爲スコトヲ得其ノ陳述ハ當事者又ハ訴訟代理人カ直ニ之ヲ取消シ又ハ更正セサルトキハ自ラ之ヲ爲シタルモノト看做ス

前項ノ規定ニ依リ帝國臣民ニ非サル辨理士出頭シテ陳述ヲ爲サントスルトキハ裁判所ノ許可ヲ受クヘシ

第十二條ノ二　辨理士ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ辨理士會ノ會員トス

第十五條　辨理士會ノ組織、權限及監督ニ關スル事項ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第十六條　辨理士會ハ商工大臣ノ認可ヲ得テ會ノ秩序又ハ信用ヲ害スル虞アル者ヲ退會セシムルコトヲ得

第二十二條ノ二　辨理士ニ非サル者ハ報酬ヲ得ル目的ヲ以テ特許、實用新案、意匠又ハ商標ニ關シ特許局ニ對シ爲スヘキ事項ノ代理又ハ其ノ事項ニ關スル鑑定若ハ書類ノ作成ヲ爲スヲ業トスルコトヲ得ス

前項ノ書類ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第二十二條ノ三　辨理士ニ非サル者ハ利益ヲ得ル目的ヲ以テ辨理士、特許事務所其ノ他之ニ類似スル名稱ヲ使用スルコトヲ得ズ

第二十二條ノ四　第二十二條ノ二ノ規定ニ違反シタル者ハ一年以下ノ禁錮又ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス

前條ノ規定ニ違反シタル者ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス

附　則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

本法施行ノ際現ニ從前ノ規定ニ依リテ辨理士タル資格ヲ有スル者ハ本法施行後ト雖モ仍其ノ資格ヲ有ス

本法施行ノ日ヨリ三年以內ニ從前ノ第四條第二號ノ規定ニ該當スルニ至リタル者ニ對シテハ本法施行後ト雖モ仍從前ノ第四條第二號ノ規定ヲ適用ス

本法施行ノ日ヨリ五年以內ニ從前ノ第四條第三號ノ規定ニ該當スルニ至リタル者ニ對シテハ本法施行後ト雖モ仍從前ノ第四條第三號ノ規定ヲ適用ス

本法施行ノ際現ニ辨理士會ニ加入シ居ラサル辨理士ニ付テハ本法施行後三月間ハ第十二條ノ二ノ規定ヲ適用セス右期間內ニ從前ノ例ニ依リテ辨理士會ニ加入セサルトキハ其ノ辨理士ノ登錄ハ效力ヲ失フ

特許法第二十條及第百三十五條、實用新案法第三十三條、意匠法第三十二條竝ニ商標法第三十八條ハ之ヲ削除シ實用新案法第二十六條中「第十條乃至第三十三條」ヲ「第十條乃至第十九條、第二十一條乃至第三十三條」ニ、意匠法第二十五條中「第十六條乃至第三十條」ヲ「第十六條乃至第十九條、第二十一條乃至第三十條」ニ、商標法第二十四條中「第十六條乃至第三十條」ヲ「第十六條乃至第十九條、第二十一條乃至第三十條」ニ改ム

本法施行前從前ノ特許法第百三十五條、實用新案法第三十三條、意匠法第三十二條又ハ商標法第三十八條ノ規定ヲ適用スヘカリシ行爲ニ付テハ仍從前ノ規定ニ依ル但シ懲役トアルハ禁錮トス

從前ノ特許法第百三十五條、實用新案法第三十三條、意匠法第三十二條又ハ商標法第三十八條ノ規定ニ依リ處罰セラレタル者ハ第五條第二條ノ改正規定ノ適用ニ付テハ之ヲ第二十二條ノ四第一項ノ規定ニ依リ處罰セラレタル者ト看做ス

（國務大臣吉野信次君登壇）

○**國務大臣（吉野信次君）**　只今議題ニナリマシタ特許法中改正法律案外三件ノ法案ノ提案ノ理由ヲ一括シテ御說明申上ゲマス

先ヅ特許法、商標法及ビ不正競爭防止法ノ此三法律ノ改正ノ案件デアリマスルガ、是ハ國際條約ノ關係ノ改正デアリマス、卽チ明治十六年ニ巴里デ締結セラレマシタ工業所有權保護同盟條約、是ニハ我國ハ御承知ノ通リ明治三十二年以來加盟ヲ致シテ居ルノデアリマスルガ、其後此同盟條約ハ四回ニ亙リマシテ改正ヲセラレテ、今日ニ及ンデ居ルノデアリマス、其最近ニ於ケル改正ハ、昭和九年倫敦ニ於テ行ハレタノデアリマシテ、工業所有權制度ノ充實竝ニ不正競爭ノ防止ニ付キマシテ、色々ナ條項ガ規定セラレタノデアリマシテ、此改正條約ハ本年七月一日迄ニ倫敦ニ於キマシテ、批准書ヲ寄託スベキコトニ條約上ノ規定ガナッテ居ルノデアリマス、ソコデ是ガ御批准ヲ奏請致シマスルガ爲ニ、今回此同盟條約ノ改正ノ限度ニ止メマシテ、特許法ト、商標法ト、不正競爭防止法ト、此三ツノ法律ヲ改正致シマスル案ヲ提出致シマシタ次第デゴザイマス

次ニ辨理士法中ノ改正法律案デゴザイマスガ、近時我國產業ノ進展ニ伴ヒマシテ、

特許實用新案、意匠又ハ商標ニ關シマスル出願ナリ、請求ナリノ事柄ガ著シク增加致シマシテ、随テ是等ニ關スル事務ニ従事致シマスル辨理士ノ業務ハ、益々其重要性ヲ加ヘテ參リマシタノデアリマス、ソコデ此辨理士ノ資格ヲ高メ、品位ノ向上ヲ圖リ、辨理士ニ對スル委囑者ノ信頼ノ念ヲ深カラシメ、其利益ヲ擁護致シマスルト共ニ、法律上辨理士ノ業務範圍ヲ明確ニ致シマシテ、以テ實情ニ副ハシメルコトト致シ、且ツ辨理士ニ非ザル者ノ辨理士類似ノ行爲ヲ行フコトヲ取締ルト云フコトハ、是等ノ工業所有權ノ發達ヲ圖ル上ニ於キマシテ、甚ダ肝要ナルコトト信ズルノデアリマス、ソコデ辨理士法中ノ改正法律案ノ提出ヲ致スコトニシタ次第デアリマス、尙ホ以上御說明申上ゲマシタ四ツノ法律改正案ハ、何レモ去ル第七十回帝國議會ニ提出致シマシタルモノト、同一ノ内容ヲ有スルモノデアリマス、何卒十分御審議ノ上御協贊アランコトヲ御願致シマス(拍手)

○**議長**(**小山松壽君**)　各案ノ審査ヲ付託スベキ委員ノ選擧ニ付テ御諮リ致シマス

○**服部崎市君**　日程第一乃至第四ノ四案ハ、一括シテ政府提出、昭和十三年度一般會計歳出ノ財源ニ充ツル爲公債發行ニ關スル法律案外六件ノ委員ニ併セ付託セラレンコトヲ望ミマス

○**議長**(**小山松壽君**)　服部君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○**議長**(**小山松壽君**)　御異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ

○**服部崎市君**　議事日程變更ノ緊急動議ヲ提出致シマス、即チ此際政府提出、兵役法中改正法律案ヲ議題ト爲シ、委員長ノ報告ヲ求メ、其審議ヲ進メラレンコトヲ望ミマス

○**議長**(**小山松壽君**)　服部君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○**議長**(**小山松壽君**)　御異議ナシト認メマス、仍テ日程ハ變更セラレマシタ、兵役法中改正法律案ノ第一讀會ヲ開キマス、委員長ノ報告ヲ求メマス――委員長永田良吉君

兵役法中改正法律案(政府提出)　第一讀會ノ續(委員長報告)

報告書

一兵役法中改正法律案(政府提出)

右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此段及報告候也

昭和十三年二月五日

委員長　永田　良吉

衆議院議長小山松壽殿

〔永田良吉君登壇〕

○**永田良吉君**　只今ヨリ兵役法中改正法律案ノ委員會ニ於ケル審議ノ經過並ニ結果ニ付テ御報告申上ゲマス、本案ハ從來青年學校若クハ是ト同等以上ノ課程ヲ修了シタル者ハ、歩兵科ニ限リ在營期間ヲ六箇月短縮セラレテアッタノデアリマス、今回ノ事變ニ鑑ミ毒瓦斯、戰車、飛行機等、戰鬪法モ兵器ノ機械化ニ依リマシテ複雜トナリマシタ結果、他ノ兵科ト同ジヤウニ歩兵科モ在營期間ヲ二箇年トスルト云フノガ本案ノ骨子デアリマス、而シテ本委員會ハ、去ル一月二十八日成立以來六日間ニ亙リ、委員諸君ヨリ種々御熱心ナル質疑ヲ重ネラレ、政府委員ニ於カレテモ、至極懇切ナル答辯ガアッタノデアリマス、其中主ナル二三ノ要點ヲ此機會ニ御紹介申上ゲマス、先ヅ民政黨ノ伊藤君ヨリ在鄕軍人ノ指導方針ニ付キ、次ニ民政黨ノ山田君ヨリ齒科衛生機關設置ニ付キ、甚ダ熱心ナル要望ガアッタノデアリマス、又政友會ノ庄司君ヨリ青年學校ノ指導方針ニ付キ、特ニ青年教育ニ關係ノアル教員ノ國庫負擔ヲ增額ヲサレタイト云フヤウナコトニ付テ、熱心ナ要望ガアッタノデアリマス、又第一控室ノ江藤君、民政黨ノ長井君、眞鍋君、鈴木君、遠山君等ヨリ、兵役年限ノ延長、或ハ應召缺格ニ關シ、又半島人ノ志願兵、在滿兵等ノ件ニ付キ質問ガアッタノデアリマス、最後ニ政友會ノ小平君、曾和君、第一控室ノ安藤君、東方會ノ木村君、社大ノ山崎君ノ諸君カラ、戰病死者ノ遺族、又傷痍軍人ノ家族ニ對スル優遇方法、扶助料、一時賜金、恩給等ニ付キ、熱心ナル質疑應答ガ行ハレマシタ、此間委員諸君モ、政府委員モ、共ニ最モ眞面目ナル態度ヲ保タレタコトハ、戰時下ニ於ケル議會ノ美點ヲ發揮セラレ、誠ニ感激ニ堪ヘザル次第デアリマス、本日午後二時五十分討論ニ入リマシタ所、民政黨ノ山田君ヨリ原案ニ贊成ノ意見ヲ述ベラレ、尙ホ齒科醫師ノコトモ御述ニナリマシタ、次ニ政友會ノ木村君カラモ同樣贊成ノ意見ヲ述ベラレタノデアリマス、其次ニ社會大衆黨ノ山崎君カラモ同樣ノ意見ヲ述ベラレマシタ、最後ニ東方會ノ三浦君カラ本案ニ贊成ノ御意見ガアッタノデアリマス、ソレニテ討論ハ終結致シ、直チニ採決ニ入リマシタ所、總員起立、滿場一致ヲ以テ原案ノ通リ可決致シマシタ、詳細ハ速記錄デ御承知ヲ願ヒマス、右御報告申上ゲマス、何卒御贊成アランコトヲ御願致シマス(拍手)

○**議長**(**小山松壽君**)　討論ノ通告ガアリマス、之ヲ許シマス――伊藤東一郎君

〔伊藤東一郎君登壇〕

○**伊藤東一郎君**　私ハ本案ニ對シマシテ贊成ノ意見ヲ述ベントスルモノデアリマス、諸君、今次事變ニ於ケル皇軍ノ神速果敢ナル進擊ハ、正シク中外驚異ノ的トナッテ居リマスガ、其由テ來ル所以ノモノハ、偏ニ天皇陛下ノ御稜威ノ賜デアリマスコトハ申スマデモゴザイマセヌ、洵ニ恐懼感激ノ極ミデゴザイマス、尙ホ忠勇義烈ナル皇軍將士ノ偉大ナル勳功ニ對シマシテハ、國民ノ齊シク感謝措ク能ハザル所デアリマス、御承知ノ通リ科學ノ進歩ニ伴ヒマシテ、兵器

ノ改良ニ付キマシテハ、世界列强ガ何レモ其一日ノ長ヲ競ウテ居ル情勢デアリマス、其結果軍隊トシマシテ、其裝備ヲ複雜且ツ機械化セシメタノミナラズ、戰鬪ノ方法モ亦頗ル複雜トナリマシタ、隨ヒマシテ其慘禍ノ及ブ所モ更ニ甚大トナリマシタコトハ、今度ノ事變ニ徵シテモ明ナルコトデアリマス、併ナガラ人類相愛ノ理想ヨリ致シマシタナレバ、最小ノ犧牲ヲ以テ最大ノ效果ヲ擧グルコトニ努力セネバナリマセヌ、隨ヒマシテ多クノ場合ニハ速戰卽決ノ方法ヲ執ルコトガ有利デアリマスルガ、時ニ或ハ長期戰鬪ニ依リマシテ、最後ノ目的ヲ達成セネバナラヌコトモアリマセウガ、要スルニ機ニ臨ミ變ニ應ジテ必勝ヲ期スル爲メ、一層國軍ノ訓練ヲ積ミマシテ、其精鋭ヲ期セネバナラヌノデアリマス、此意味ニ於キマシテ、本法案ヲ成立セシムルコトハ、洵ニ國家ノ爲メ極メテ必要ナリト信ズル者デゴザイマス

尙ホ暫クノ時間ヲ御貸與ヘヲ御願致シマス、私ノ舊イ經驗ニ依リマスルト、初年兵ノ間ニハ頗ル氣分ガ緊張致シマスルガ、ソレガ馴テ古兵トナリ、軍務ニ慣レルニ伴レマシテ、何トナク緊張サヲ缺クヤウナ傾向ガアリハシナイカ、而シテ其緊張サヲ缺ク所ニ、トモスレバ色々ナ宜シクナイ習慣ヲ覺エル機會ヲ作ル原因トナルコトガアルヤニ懸念ヲサレルノデアリマス、當局トシマシテハ、訓練服務ニ付テ意ヲ用ヒラルヽト同時ニ、精神的修養ニ努メラレルノ要アルコトハ、申上グル迄モナイコトデアリマスルガ、又一面兵士ノ娯樂慰安ノ機關ガ餘リニ乏シイコトガ、得テシテ宜シクナイ習慣ニ近ヅキ易イ素因トモナッテ居ルノデアリマスルガ故ニ、其點ヲ御考慮ナサイマシテ、兵士ニ對スル例ヘバ憩ヒノ家ノ如キ、慰安娯樂ノ場所ヲ營外ニ設クルコトヲ考慮サルヽノ必要ハナキヤ、更ニ國民皆兵ノ下ニ壯丁ガ兵役ニ服シマスルコトハ、我ガ國柄トシマシテハ絕對的ノモノデアリ、又世界ニ誇ル制度ト信ジマス、併ナガラ生存競爭ノ火花ヲ散ラス今日ノ時代ニ於キマシテハ、壯丁ガ在營スルコトニ依リマシテ、其家族ノ者ガ經濟的ニ受ケル負擔ノ少ナカラザルコト、就中軍隊ノ要素デアル步兵ノ在營年限ガ六箇月延長サルヽコトトナリマシタナレバ、ソレダケ更ニ重加サルヽコトトナリマスノミナラズ、服役者ハ農村ノ子弟若クハ小商工業者ニ多イ事實ニ鑑ミマシテモ、在營期間ノ延長ハ將來壯丁家族ノ經濟的負擔ヲ輕減スルノ要アリハシナイカ、更ニ又當局ハ本法案ノ實施ニ依リマシテ、國軍ノ整備ニ遺憾ナキヲ期セラルヽヤウ、今後尙ホ社會生活ノ機械化、複雜化ハ、一層戰爭ヲ複雜化セシムルコトハ明白ノ事實ト信ジマス、此意味ニ於テ青少年ノ教育ガ今日以上ニ出ナイ場合ニハ、他日重ネテ又在營期間ノ延長保シ難キコトト思ハレマスルガ故ニ、此機會ニ於テ義務教育ノ延長ハ、之ヲ考慮ナサルノ要ハナイカ、何レニ致シマシテモ、本法案ノ運營ニ付キマシテハ萬全ノ御考慮ニ依リマシテ、更ニ國軍ノ精華ヲ一層發揮セシメラレンコトヲ心カラ祈ル次第デアリマス、以上ヲ以チマシテ本法案ニ對スル贊成ノ理由ト致シマス(拍手)

○**議長**(**小山松壽君**)　是ニテ討論ハ終局致シマシタ、本案ノ第二讀會ヲ開クニ御異議アリマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○**議長**(**小山松壽君**)　御異議ナシト認メマス、仍テ本案ノ第二讀會ヲ開クニ決シマシタ

○**服部崎市君**　直チニ本案ノ第二讀會ヲ開キ、第三讀會ヲ省略シテ、委員長ノ報告通リ可決セラレンコトヲ望ミマス

〔「贊成」「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○**議長**(**小山松壽君**)　服部君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○**議長**(**小山松壽君**)　御異議ナシト認メマス、仍テ直チニ本案ノ第二讀會ヲ開キ、議案全部ヲ議題ト致シマス

兵役法中改正法律案　第二讀會(確定議)

○**議長**(**小山松壽君**)　別ニ御發議モアリマセヌ、第三讀會ヲ省略シテ、委員長報告通リ可決確定致シマシタ(拍手)——次ニ堤康次郎君ヨリ速記訂正ニ關シ、議事進行ニ關スル發言ヲ求メラレテ居リマス、此際之ヲ許シマス——堤康次郎君

○**堤康次郎君**　簡單デアリマスカラ此席デ御許ヲ願ヒマス

○**議長**(**小山松壽君**)　宜シウゴザイマス

○**堤康次郎君**　去ル一月二十二日ノ本會議ニ於ケル私ノ質疑演說ニ付キマシテ、其當時議長マデ訂正方御願致シテ置キマシタガ、尙ホ不十分ノ點ガアリマスノデ、此際議長ノ御許ヲ得マシテ、更ニ訂正ノ趣旨ヲハッキリサセテ戴キタイト存ジマス、當日靖國神社ノ例祭ヲ大祭日トスル意思ガナイカドウカト云フコトヲ、內務大臣ニ對シテ質問ヲ致シマシタ際、私ハ原稿ヲ持ッテ居リマセズ、且ツ靖國神社ニ祀ラレテアル幾多ノ英靈ノコトヲ想浮ベテ居リマシテ、十分意ヲ盡サヾル點ガアリマシタノカ、或ハ速記ノ間違ヒカ、私ノ趣旨ト速記トガ相違シテ居リマスノデ、右質問中、當日ノ速記錄三十三頁ノ第三段第十七行、十七字目ヨリ以下四十五字ノ代リニ「コトデ、實現シナカッタサウデアリマスガ、然ラバ皇室ノ御祭ト名實倶ニ區別ヲシテ、特別ノ祭日ニスルトカ何トカ事務的ニ處理シテ」トノ五十七字ニ訂正致シタイノデアリマス、何卒議長ニ於テ宜シク御取計ヲ願マヒス

○服部崎市君　殘餘ノ日程ヲ延期シ、本日ハ是ニテ散會セラレンコトヲ望ミマス

○議長（小山松壽君）　服部君提出ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長（小山松壽君）　御異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマシタ、次會ノ議事日程ハ公報ヲ以テ通知致シマス、本日ハ是ニテ散會致シマス

午後三時三十八分散會

內閣印刷局